

n を 3 以上の整数とする．座標平面上の $2n$ 個の点からなる集合

$$\{(x, y) \mid x = 1, 2, 3, \dots, n, \quad y = 1, 2\}$$

を考える．この集合から異なる 3 点が無作為に選び、その 3 点を線分で結んで得られる図形の面積を X とする．ただし、3 点が同一直線上にあるときは $X = 0$ とする．

(1) k が 0 以上の整数のとき、 X が $\frac{k}{2}$ となる確率 p_k を n と k の式で表せ．

(2) X が $\frac{n}{4}$ 以下となる確率を q_n とおく． $\lim_{n \rightarrow \infty} q_n$ を求めよ．

(24 千葉大 5)

【答】

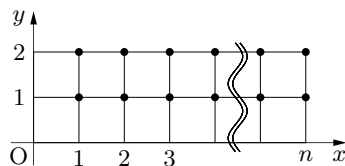
$$(1) p_k = \begin{cases} \frac{n-2}{2(2n-1)} & (k=0 \text{ のとき}) \\ \frac{3(n-k)}{(2n-1)(n-1)} & (k=1, 2, \dots, n-1 \text{ のとき}) \\ 0 & (n \leq k \text{ のとき}) \end{cases}$$

$$(2) \frac{13}{16}$$

【解答】

(1) $2n$ ($n \geq 3$) 個の点から 3 点を選ぶときの選び方は

$$\begin{aligned} {}_{2n}C_3 &= \frac{2n \cdot (2n-1) \cdot (2n-2)}{3 \cdot 2 \cdot 1} \\ &= \frac{2n(2n-1)(n-1)}{3} \quad \text{通り} \end{aligned}$$



であり、これらは同様に確からしい．

$$A_1 = \{(x, 1) \mid x = 1, 2, 3, \dots, n\}$$

$$A_2 = \{(x, 2) \mid x = 1, 2, 3, \dots, n\}$$

とおくと、 k が 0 以上の整数のとき、異なる 3 点を線分で結んで得られる図形の面積 X は

(i) 3 点が A_1 にある、または 3 点が A_2 にあるときは、3 点が同一直線上にあるから、 $X = 0$ である．

(ii) 2 点が A_1 にあり他の 1 点が A_2 にある、または 2 点が A_2 にあり他の 1 点が A_1 にあるとき、同じ集合にある 2 点の x 座標の差を k とおき、これを三角形の底辺の長さをみると、高さは 1 であるから $X = \frac{1}{2} \cdot k \cdot 1 = \frac{k}{2}$ ($k = 1, 2, \dots, n-1$) である．

(iii) $k \geq n$ のとき、(ii) と同じく考えると、可能な底辺の長さ k は $1 \leq k \leq n-1$ であり、これは $k \geq n$ に反する．すなわち、 $k \geq n$ となる三角形は存在しない．

と場合分けされる． $X = \frac{k}{2}$ となる確率 p_k は

(i) $k = 0$ のとき、 $X = 0$ であり

$$p_0 = \frac{{}_n C_3 + {}_n C_3}{\frac{2n \cdot (2n-1) \cdot (n-1)}{3}} = \frac{2 \times \frac{n(n-1)(n-2)}{3 \cdot 2 \cdot 1}}{\frac{2n \cdot (2n-1) \cdot (n-1)}{3}} = \frac{n-2}{2(2n-1)}$$

である．

- (ii) $k = 1, 2, \dots, n-1$ のとき, $X = \frac{k}{2}$ であり, 同じ集合にある 2 点の x 座標の組 (x_1, x_2) は $(1, k+1), (2, k+2), \dots, (n-k, n)$ の $n-k$ 通りがあるから

$$p_k = \frac{(n-k) \cdot {}_nC_1 \times 2}{\frac{2n \cdot (2n-1) \cdot (n-1)}{3}} = \frac{3(n-k)n}{n \cdot (2n-1) \cdot (n-1)} = \frac{3(n-k)}{(2n-1)(n-1)}$$

である.

- (iii) $n \leq k$ のとき, 三角形は存在しないから

$$p_k = 0$$

である.

よって

$$p_k = \begin{cases} \frac{n-2}{2(2n-1)} & (k=0 \text{ のとき}) \\ \frac{3(n-k)}{(2n-1)(n-1)} & (k=1, 2, \dots, n-1 \text{ のとき}) \\ 0 & (n \leq k \text{ のとき}) \end{cases} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.

- (2) (1) より X がとり得る値は 0 ($k=0$ のとき) または $\frac{k}{2}$ ($k=1, 2, \dots, n-1$ のとき) であるから, $X = \frac{k}{2}$ ($k=0, 1, 2, \dots, n-1$ のとき) と表すことができ, X が $\frac{n}{4}$ 以下となるのは

$$0 \leq \frac{k}{2} \leq \frac{n}{4} \quad \therefore \quad 0 \leq k \leq \frac{n}{2}$$

のときである.

- (i) n が偶数のとき, $n = 2m$ (m は 2 以上の整数) とおくと, $X \leq \frac{n}{4}$ となる k は $k = 0, 1, 2, \dots, m$ であり, $X \leq \frac{n}{4}$ となる確率 q_n は

$$\begin{aligned} q_n &= q_0 + q_1 + \dots + q_m \\ &= \frac{n-2}{2(2n-1)} + \sum_{k=1}^m \frac{3(n-k)}{(2n-1)(n-1)} \\ &= \frac{n-2}{2(2n-1)} + \frac{3}{(2n-1)(n-1)} \cdot \frac{m\{(n-1) + (n-m)\}}{2} \\ &= \frac{n-2}{2(2n-1)} + \frac{3}{(2n-1)(n-1)} \cdot \frac{\frac{n}{2} \left(2n - \frac{n}{2} - 1\right)}{2} \quad \left(\because m = \frac{n}{2}\right) \\ &= \frac{n-2}{2(2n-1)} + \frac{3n(3n-2)}{8(2n-1)(n-1)} \\ &= \frac{1 - \frac{2}{n}}{2 \left(2 - \frac{1}{n}\right)} + \frac{3 \left(3 - \frac{2}{n}\right)}{8 \left(2 - \frac{1}{n}\right) \left(1 - \frac{1}{n}\right)} \\ &\xrightarrow{(n \rightarrow \infty)} \frac{1}{2 \cdot 2} + \frac{3 \cdot 3}{8 \cdot 2 \cdot 1} \\ &= \frac{13}{16} \end{aligned}$$

- (ii) n が奇数のとき, $n = 2m+1$ (m は 1 以上の整数) とおくと, $X \leq \frac{n}{4}$ となる k は

$k = 0, 1, 2, \dots, m$ であり, $X \leq \frac{n}{4}$ となる確率 q_n は

$$\begin{aligned}
 q_n &= q_0 + q_1 + \dots + q_m \\
 &= \frac{n-2}{2(2n-1)} + \sum_{k=1}^m \frac{3(n-k)}{(2n-1)(n-1)} \\
 &= \frac{n-2}{2(2n-1)} + \frac{3}{(2n-1)(n-1)} \cdot \frac{m\{(n-1) + (n-m)\}}{2} \\
 &= \frac{n-2}{2(2n-1)} + \frac{3}{(2n-1)(n-1)} \cdot \frac{\frac{n-1}{2} \left(2n - \frac{n-1}{2} - 1\right)}{2} \\
 &\hspace{15em} \left(\because m = \frac{n-1}{2} \right) \\
 &= \frac{n-2}{2(2n-1)} + \frac{3(3n-1)}{8(2n-1)} \\
 &= \frac{1 - \frac{2}{n}}{2 \left(2 - \frac{1}{n}\right)} + \frac{3 \left(3 - \frac{1}{n}\right)}{8 \left(2 - \frac{1}{n}\right)} \\
 &\xrightarrow{(n \rightarrow \infty)} \frac{1}{2 \cdot 2} + \frac{3 \cdot 3}{8 \cdot 2} \\
 &= \frac{13}{16}
 \end{aligned}$$

(i), (ii) より $\lim_{m \rightarrow \infty} q_{2m} = \lim_{m \rightarrow \infty} q_{2m+1} = \frac{13}{16}$ であり

$$\lim_{n \rightarrow \infty} q_n = \frac{13}{16} \hspace{10em} \dots\dots (\text{答})$$

である.